

全労連青年部ユニオンユースアカデミー

# 生活賃金

# シミュレーション

**実施の手引き**

2011年3月5日～6日

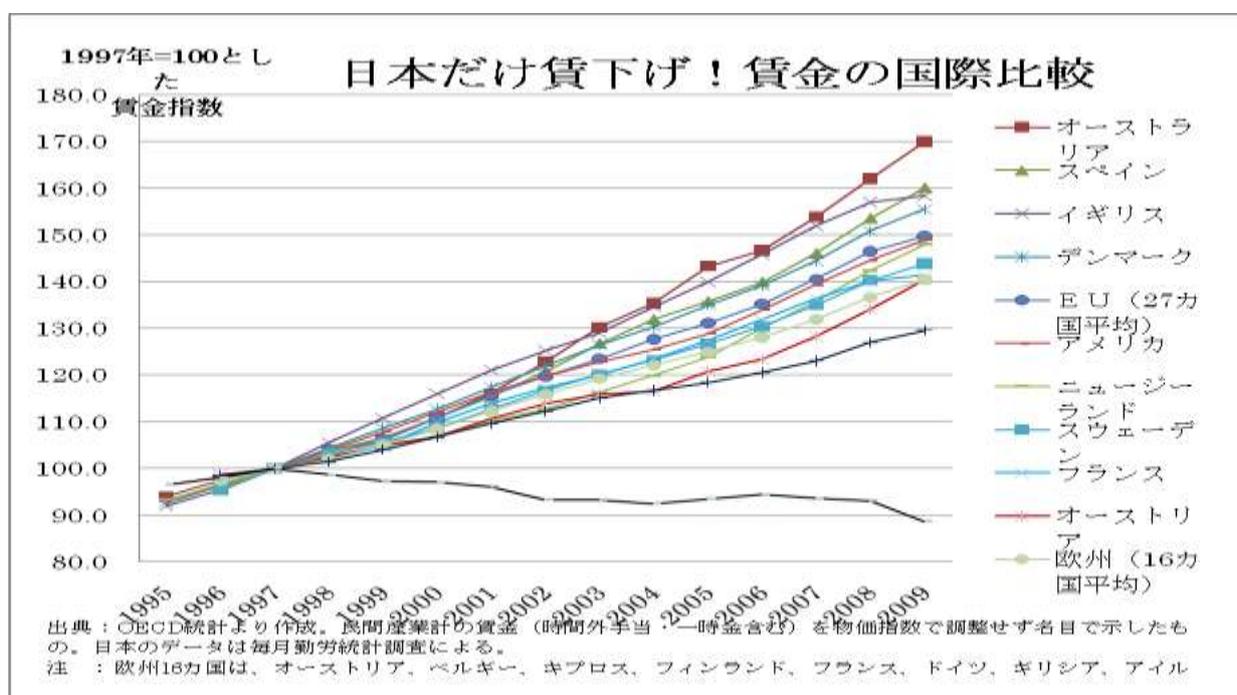
全労連会館

# I シミュレーションを始める前に

## 1. 賃金に関する情勢（簡単に）

- ・日本の労働者の賃金は、2009年には前年より23万円（5.5%）も減少。グローバル経済がより強まり、国際競争が激化した90年代後半以降の状況でも、賃金が伸びていないのは日本だけ。
- ・2009年中に民間企業で働く労働者のうち、年収200万円以下のワーキングプア層が1,100万人に迫り、4人に1人の割合。
- ・厚生労働省が実施した「2009年若年者雇用実態調査」によると、若者の3割が月収15万円未満、非正規社員に限ると63.8%が15万円未満、10万円未満も36.6%にのぼる。

⇒下がり続ける！低すぎる！日本の賃金



## 2. 賃金の「最低基準」とは？

- ・今の賃金では「ちゃんとした生活できない」「まともに暮らせない」とは思うけど、そもそも「最低限の生活」「賃金の最低基準」とは？
- ・「目安」として使われてきた『生活保護』は、高齢加算廃止、基準引き下げにより、「目安」というには低すぎる実態

⇒新しい要求の目標として「最低生計費」=どのくらい生活にお金が必要なんだという目安が必要

### 3. では、何が貧困ライン＝「最低生活の基準」なんだろう？

- ・「貧困」のついでへの考え方

#### 「絶対的貧困」

「食えるか食えないか」という、食費を中心に、ただ健康時における肉体的能率の保持だけに焦点を合わせる考え方

#### 「相対的貧困」

産業の発展や社会・文化の発展によって貧困ライン＝最低生活基準が変化するという考え方。

<産業、社会、文化の発展・変化の例>

**産業** 娯楽といえば、「地域の祭り」から「商業化された施設」に⇒お金がかかります。

**社会** 「妻は家庭」から「共働き」に⇒「保育」が必要になり、お金がかかります。

**文化** 「メンコ」や「ビーダマ」遊びから「プレステ」に⇒お金がかかります。

⇒何が言いたいかというと…

**時代や社会とともに、「相対的」に最低生活の基準は変化する。**

→だから、相対的（時代や環境とともに変化する）なので、あいまいな部分も…

### 4. 「人間らしい生活」＝最低限必要な「生活の質」とは

- ・ 3. で最低生活の基準が相対的に変わるのわかったけど、「人間らしい生活」＝最低限必要な「生活の質」って、どんなこと？

#### ①基本的な健康・生命を維持するための「生活の質」

「適切な栄養をえているか」「雨露をしのぐことができるか」

「避けられる病気にかかっていないか」「健康状態にあるか」など

#### ②社会・文化的な「生活の質」

「読み書きができるか」「移動することができるか」「人前に出て恥をかかないでいられるか」

「自尊心を保つことができるか」「社会生活に参加しているか」など

⇒何が言いたいかというと…

**健康なだけ、食べるだけじゃなく、社会的・文化的な生活を送ることを考えよう！**

## 5. では、「生活の質」って何だろう？人それぞれ違うのでは？

- ・「生活の質」といっても、4の②の「恥をかかない」とか「自尊心」とかは、それぞれの人が経験してきた、社会的・経済的、文化的環境によって影響を受けることが多いのでは？

<環境による「生活の質」の例>

- 家庭の金銭的な事情で、高校や大学などに行けるか、行けないか。
- 手元にお金が無く、住み込みでしか働けないか、手持ち金があり賃貸住宅に住めるか。
- 病気になっても我慢するか、病気になったら病院へ行けるか。

人それぞれ「生活の質」の感性は違います。

## しかし！！

個々人が置かれている環境によって、自分自身の欲求、価値、目的を抑制する社会でいいのか？

⇒よくない！！

最低生活の保障、差別からの自由といったことが、公共政策によって実現されてこそ、積極的な自分自身の選択した価値や目的に向かって活動する自由が保障されるはず。

⇒個々人を取り巻く環境・状況の改善無くして、個々人の自由は保障されない！

☆結局、人間らしい生活って…、

- 人それぞれ違うけど、人間らしい生活は「食べられる」「家がある」だけではない！
- 私たちの生活を、社会の発展状況に照らして、「これぐらいの水準のものは必要」「せめてこれぐらいは必要」という「人としてこれぐらいは必要」という視点で考えることが大事！
- その「必要」なものを考えるにあたって、趣味、嗜好といった個人の生活感覚・価値観を出発点としながらも、議論をつうじて、人間らしい生活、すなわち「つつましくけれども、人前で恥をかかないような生活」の水準＝誰もが手にすべき最低賃金を探っていくことが重要！！
- 個人の違いは理解し合いながら、「落としどころ」をすり合わせて、見つけることができれば、「みんながめざすべき具体的な目標」となるはず！
- 落としどころを探すキーワード  
「つつましくても、人前で恥をかかないような生活」（←いろいろ言い方はありますけど）

## Ⅱ シミュレーションをやってみよう！

### 1. what 's “生活賃金シミュレーション”？

=コンセプトは **“給料は生活費をまかなうためにある”**

- ・賃金は、会社が「いくら払えるか」という、「支払い能力」で考えられがち。
- ・しかし！！「人間らしい生活のために必要な賃金」＝「会社が払える賃金」ではない！
- ・そこで、「1か月に必要な生活費」を算出すれば、生活するのに必要な1か月の給料＝賃金を考えることができる  
⇒それが、**生活賃金シミュレーション！！**

### 2. そもそも、表のもとになっている「最低生計費調査」とは？

「持ち物調査」「生活実態調査」「価格調査」や各指標により「最低生計費」を算出

- 1) 家具・家事用品、被服および履物、教養娯楽耐久財、書籍・他の印刷物、教養娯楽費、理美容用品、身の回り用品など  
→「持ち物財調査」に基づいて、原則7割以上の保有率のものを「人前に出て恥をかかないでいられる」最低限と考え、耐用年数は、国税庁「減価償却資産の耐用年数等に関する政令」を参考に。  
●簡単にいえば、「これ、いる・いない」とか「これは10年くらい耐用するだろう」という主観を除いて、客観的に捉えられるような基準で調査。
- 2) その他、食費や交通・通信費、交際費など  
→「生活実態調査」より算出。

#### マーケット・バスケット方式

マーケット・バスケットとは買物かごのことであり、この方式はその名のとおり、最低生活を営むに必要な飲食物費、衣類、家具什器、入浴料等の個々の品目を一つひとつ積み上げて最低生活費を算出する方法である。理論生計費方式の代表的なものの一つであって、全物量方式とも呼ばれる。

### 3. チーム分け

1) 設定を【20歳代独身男性】の場合と、【20歳代独身女性】の場合にします。

2) 生活に必要なモノなどを費目ごとに分けました。

Aグループ・・・p.1～3

①食費

⑪交際費その他

Bグループ・・・p.4～6

②住居費

③家具・家事用品

Cグループ・・・p.8～10

⑤⑥被服および履物

Dグループ・・・p.12～13

⑧教養娯楽費

⑨⑩理美容費

⑨身の回り品

※最低生計費調査を適用（今回、シミュレーションしない項目）

④水道・光熱費・・・p.7

⑦保健医療費&交通・通信費・・・p.11

3) ⑤⑥被服および履物や、⑨⑩理美容費は、男性と女性で必要なものは違いますが、今回はお互い、男性と女性で違うことも含めて議論するため、一緒に考えましょう。

### 4. チームに分かれたら

試算する前に、担当する費目についての注意書き（各ページに書いてあります）を読んでください。また、グループリーダーから説明もあります。

## 5. 穴あき部分をうめる

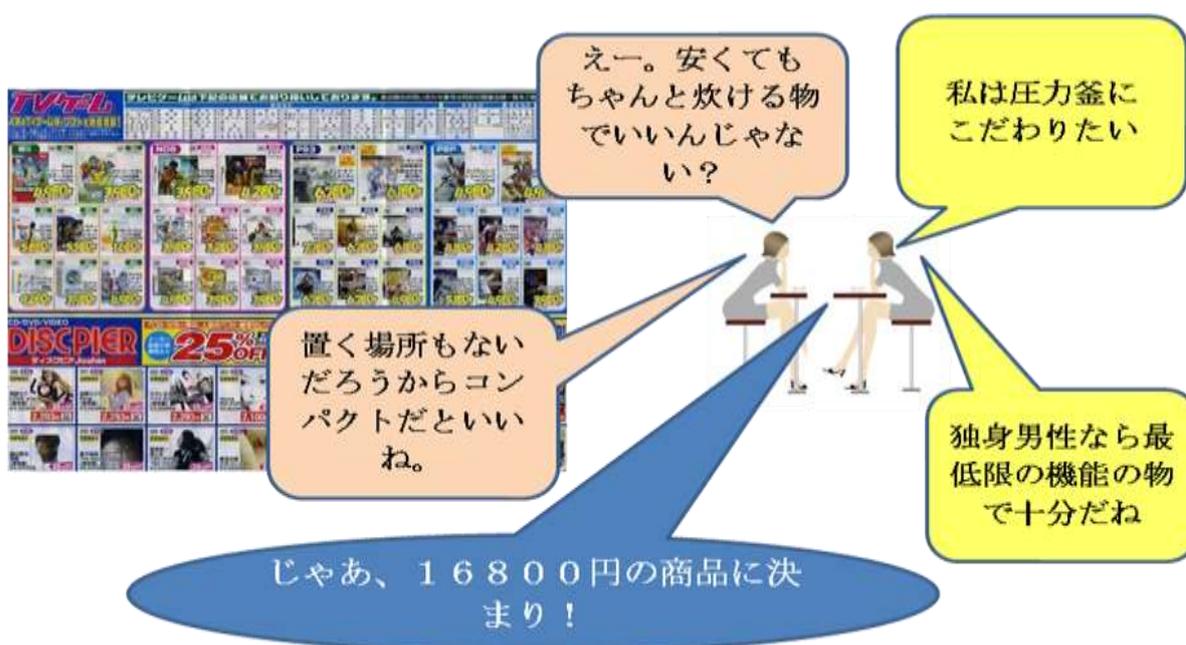
グループごとに、計算シートの価格の欄が空欄になっている商品について、カタログやチラシを利用して、価格を決定してください。そこから1か月に必要な金額（月額）を計算し記入してください。

<例> 家具・家事用品>

### 1) 自動炊飯器を議論

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考
自動炊飯器	①	6年	1		3.5合炊き
電気冷蔵庫	17000円	6年	1	236円	100~250リットル
電気掃除機	①	6年	1		
電子洗濯機	25000円	6年	1	347円	
小計					

### 2) 価格は、カタログ・広告から選んで決定



3) 決定した「価格」を記入していきます

品目	価格	耐用年数	消費量	月価格	備考
自動炊飯器	16800円	6年	1		3.5合炊き
電気冷蔵庫	17000円	6年	1	236円	100~250リットル
電気掃除機	8800円	6年	1		
電子洗濯機	25000円	6年	1	347円	
小計					

4) 月価格の穴埋め

品目	①価格	耐用年数	消費量	②月価格	備考
自動炊飯器	16800円	6年	1	②	3.5合炊き
電気冷蔵庫	17000円	6年	1	236円	100~250リットル
電気掃除機	8800円	6年	1	②	
電子洗濯機	25000円	6年	1	347円	
小計					

月価格とは⇒1か月の負担金

◎新聞代や光熱費のように1か月の金額が明確なものは、それが月価格。

◎月単位では金額が明確ではないものは、以下の計算式で算出します。

価格÷耐用年数×消費量÷12(ヵ月)

炊飯器の耐用年数は・・・  
6年、消費量は1台

買う時に払ったのは  
16800円だけど、6年使う  
として1年単位での負担を考え  
ると・・・  
 $16800円 \div 6年 = 2800円$

さらに、1か月単位での負担にすると・・・  
 $2800円 \div 12か月 = 233.333 \rightarrow 233円$

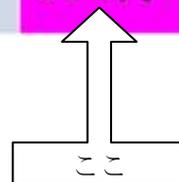
例) 炊飯器の価格 = 16800円

$$16800円 \times 1 \div 6年 \div 12か月 = 233円/月$$

品目	①価格	耐用年数	消費量	②月価格	備考
自動炊飯器	16800円	6年	1	233円	3.5合炊き
電気冷蔵庫	17000円	6年	1	236円	100~250リットル
電気掃除機	8800円	6年	1	②	
電子洗濯機	25000円	6年	1	347円	
小計					

5) 月価格の小計

品目	①価格	耐用年数	消費量	②月価格	備考
自動炊飯器	17000円	6年	1	233円	3.5合炊き
電気冷蔵庫	28900円	6年	1	236円	100~250リットル
電気掃除機	8800円	6年	1	122円	
電子洗濯機	25000円	6年	1	347円	
小計				938円	



## 6. ツッコミポイントを議論

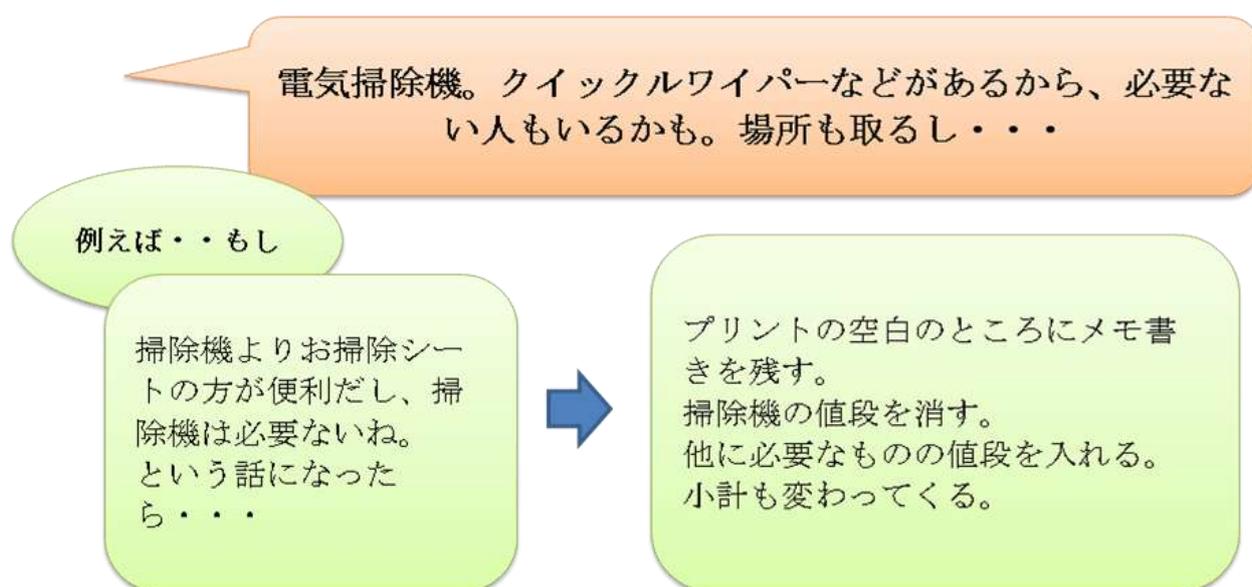
計算シートに予め用意した「ツッコミポイント」が書いてあります。それについてグループごとに議論をしてください。

### ツッコミポイント議論の進め方

吹き出しに書かれていることをヒントに、グループで話をもちあげてください。

<テーマの例>

- ・足りないものはないか、不要なものはないか
- ・価格は安すぎるか、高すぎるか



<ツッコミポイントによる変更例>

掃除機削除、お掃除シートのほうが必要！月価格は60円とする

品目	①価格	耐用年数	消費量	②月価格	備考
自動炊飯器	17000円	6年	1	233円	3.5合炊き
電気冷蔵庫	28900円	6年	1	236円	100~250リットル
<del>電気掃除機</del>	<del>8800円</del>	<del>6年</del>	<del>1</del>	<del>122円</del>	
電子洗濯機	25000円	6年	1	347円	
小計				<del>938円</del> 876円	

## 7. チームで発表準備

- ◆ 発表者を決めてください。
- ◆ 自分のグループの小計を発表シート（p. 14）に記載してください。
- ◆ ツッコミポイントで議論したこともチームの中で共有し、発表に活かしてください。
- ◆ 各地域での特殊事情（灯油代、車代、ガソリン代、たこ焼き器など）もチームの中で話してください。必要な項目を挙げてみてください。
- ◆ 自分グループ以外のシートも一読してみてください。発表を聞くときに役立ちます。

## 8. 発表

- ◆ チームごとにまとめた金額や議論の経過を発表してください。（もちろんツッコミポイントも参考に）
- ◆ 発表時間は7分です。
- ◆ 他のチームの発表も聞き、AチームからDチームの算出した①～⑩を書き出してみよう。
- ◆ 1班と2班、金額の低い方に○をしよう。
- ◆ 男女別に、金額の低い方の合計、高い方の合計をそれぞれ出してみよう。
- ◆ 発表シートに従い、税込みの月額と、年収も出してみよう。

### ◎なぜ、生活費×1.15倍＝生活賃金？

みなさんが出した金額は、生活していくのに必要な「生計費」です。この金額には、所得税や住民税、保険料などは含まれていません。そこで、「生計費」からそれらの金額を考慮して、各種税金などを加算金額を「生活賃金」として試算します。

ざっと説明しましたが、とりあえずやってみてください。

わからないことがあったら、各グループリーダーやスタッフに聞いて下さい。